

「第24回 広島県障害者水泳競技大会」実施要項

1 目 的

水泳を通じて体力の維持・増進を図るとともに、障害者のスポーツ活動の普及・啓発を図る。

2 主 催

広島県立障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センター おりづる

3 共 催（予定）

一般社団法人広島県障害者スポーツ協会

4 後 援（予定）

一般財団法人広島県水泳連盟 社会福祉法人広島県社会福祉協議会
一般社団法人広島県身体障害者団体連合会 一般社団法人広島県手をつなぐ育成会
広島県知的障害者福祉協会 公益社団法人広島県精神保健福祉家族会連合会
一般社団法人広島県精神保健福祉協会 東広島市教育委員会
社会福祉法人東広島市社会福祉協議会

5 協 力（予定）

広島身体障害者水泳連盟 国立大学法人広島大学体育会水泳部
国立大学法人広島大学トライアスロン部 公認障がい者スポーツ指導者 おりづるサポーター

6 日 時

令和4年4月29日（金・祝） 10：20 ～ 15：00（予定）

選手受付	9：00 ～ 9：40
開会行事	9：40 ～
練習時間	10：00 ～ 10：30
競技開始	10：40 ～

7 場 所

スポーツ交流センターおりづる プール（東広島市西条町田口295-3）

8 参加資格 広島県内に在住（学校・所属施設・勤務先など含む）する以下の者

- ① 身体障害者…身体障害者手帳所持者（内部障害は含む）で中学生以上
 - ② 知的障害者…療育手帳所持者および特別支援学校、特別支援学級、障害者支援施設などに在籍する者で中学生以上
 - ③ 精神障害者…精神障害者保健福祉手帳所持者で中学生以上
- ※①②③とも年齢は令和4年4月1日現在
（ただし、全国障害者スポーツ大会出場選考対象者は13歳以上の者とする）

9 申し込み方法

・参加申込書に必要事項を記入し、令和4年4月3日（日）までに、スポーツ交流センターに持参するか郵送（必着）またはFAX・Eメールで申し込む。

・参加申込書は実施要項添付のものを使用するかホームページからダウンロードする。

※FAX・Eメールで申し込む場合はTELで着信の確認を必ず行うこと。

・指定の「参加前体調管理票」を大会当日、記入して受付で提出すること。（介助者も同様）

参加申込み・問い合わせ先
 スポーツ交流センター おりづる
 〒739-0036 東広島市西条町田口295-3
 TEL : 082-425-6800 FAX : 082-425-6789
 Eメール oridsuru@hiroshima-wsc.jp
 ホームページ <https://www.rehab-hiroshima.org/orizuru/>

10 競技規則

- ・全国障害者スポーツ大会競技規則及び本大会申し合せ事項により実施する。

11 競技種目一覧

1	25m自由形	5	50m自由形
2	25m背泳ぎ	6	50m背泳ぎ
3	25m平泳ぎ	7	50m平泳ぎ
4	25mバタフライ	8	50mバタフライ

- ・障害、年齢、男女の区分によって参加できる競技種目が限られているので、詳細は「第24回 広島県障害者水泳競技大会障害区分・種目一覧表」で確認すること。

※**今大会の競技順については、今大会のプログラムを確認すること。**

12 競技方法

- ・全て個人種目とする。(リレーは実施しない)
- ・25mおよび50m種目は一人2種目までとする。
- ・競技種目は、原則として障害区分別・男女別に行う。

※**今大会は100m種目を行わない。**

13 表彰

- ・表彰式は行わず、レース終了後、メダル・賞状を各自で取りに行く。
- ・身体障害者は各競技種目・障害・年齢・男女の区分毎に1位～3位を決定し、賞状とメダルを各自で取りに行く。
- ・知的障害者は、各組別で1位から3位を決定し、賞状とメダルを各自で取りに行く。
- ・上記以外の者には、記録証を配布する。

14 その他

- ・本大会は、第22回 全国障害者スポーツ大会いちご一会とちぎ大会」の、広島県選手団の選手選考を兼ねて行う。(広島市在住者は選手選考の対象から除く)
- ・主催者においては応急の処置しかできないので、参加にあたっては医師の診察を受けるなど、自己の責任において健康と安全については十分留意する。
- ・プールサイドに入れる**介助者は1人につき、選手1名までとする。**
- ・プールサイドはサンダル使用可。
- ・プール内及び、プールギャラリーでの写真・ビデオ撮影は当人のみにかぎり可とする。
- ・泳ぐとき以外は、マスク着用を厳守とする。
- ・更衣室のロッカーへの**荷物収納は禁止とする。**
- ・選手は個人の荷物・履物を入れるための袋を持参し、各個人が責任をもって**管理する。**
- ・アリーナを待機場所とする。基本的にはプールサイドで待機はしないようにする。
- ・アリーナで待機する時の防寒対策は各自で準備すること。
- ・スタート時のフラッシュ撮影は禁止する。
- ・駐車場については、スポーツ交流センターの職員駐車場を使用する。
- ・大会当日は、テレビ・新聞等の報道機関が来場することが予想され、選手の氏名・写真・映像がテレビ・

新聞等で報道されることがある。また、大会プログラム・大会報告書及び当センター機関誌などに障害区分・年齢区分・氏名・競技中の写真などを掲載するので、このことを了承のうえ申し込む。

- ・第18回 全国障害者スポーツ大会よりスタートの合図でイングリッシュコールが採用になったため、本大会においてもスタートの合図は英語で行う。

(「ようい」を「take your mark : テイク・ユア・マーク」とコールする。)

- ・障害区分23出場する選手は、光を通さないゴーグルの着用を必須とする。

15 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 当日はマスクを持参し、主催者側の感染予防対策に従ってもらう。
- (2) 入館時に検温を行う。
- (3) 次の方は参加を見合わせてもらう。
 - ・入館時の検温で平熱より概ね1度以上熱が高い方、又は、37.5度以上の方
 - ・咳、倦怠感、臭覚や味覚の異常がある等体調が良くない方
 - ・2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある方
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われている場合
- (4) 当大会参加後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者に報告してもらう。
- (5) 今後の、新型コロナウイルス感染症の流行状況等により、大会を中止する場合や、参加資格等の変更がある場合もある。